

本県で催 全九電協技能競技大会

8県27選手、技競う



鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で、8県から27選手が参加した。競技方法は屋内配線工事の基本的な技能を活用し、課題配線図に基づいて、安全で正確な施工を行うこと。競技時間は220分。課題は合成樹脂管および金属管工事をもつて第39回大会の「39」を表現するもの。本県からは、木原利博さん(株)大鹿電業、枝元伸史さん(鶴丸電機工業(株))、高山数行さん(大川内設備)が出場し、真剣な眼差しで課題に全力投球していた。

有限責任中間法人全九州電気工事業協会(岸田進喜会長)は26日、鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で第39回全九電協技能競技大会を開催した。九州・沖縄8県から選抜大会を行い、上位3人が

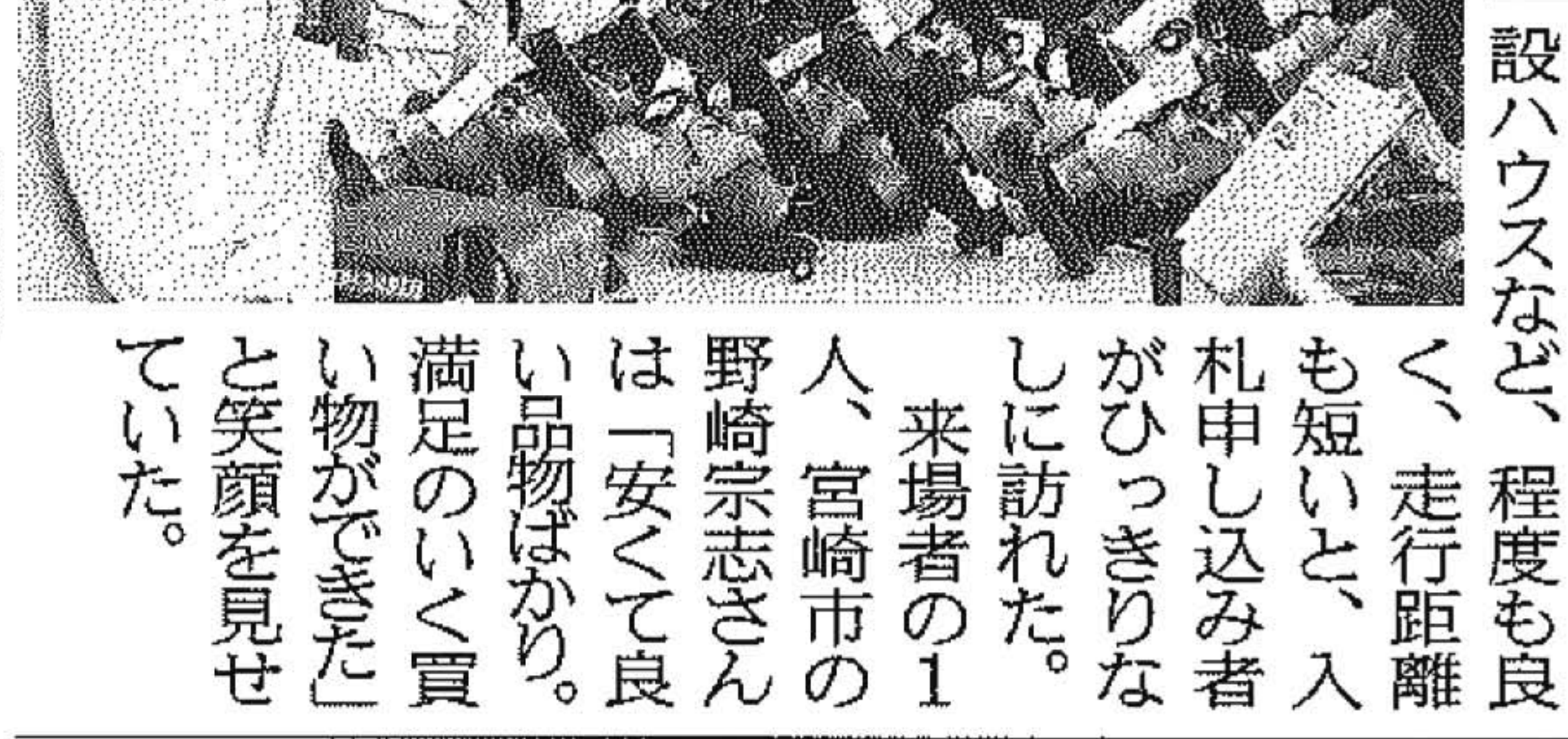
が日ごろ鍛えた技で競い合った。大会は電気工事技術者の技能習得意欲を増進し、技術水準の向上を図るとともに、電気工事業の発展を期することが目的。九州・沖縄各県持ち回りで毎年実施している。今大会に向けて各県で予選大会を行い、上位3人が

太陽建機レンタル都城支店

オープニング企画、大盛況

太陽建機レンタル(株)(逸見厚士社長、静岡県静岡市)は26日、宮崎県都城支店に21日オープンした都城支店のオープニング企画イベントとして、同市高木工業団地で中古機械大感謝セールを開催し、宮崎・鹿児島両県から約1500人が詰め掛ける盛況ぶりを見せた。宮崎県では宮崎支店、同西支店、同北支店に次ぐ4店舗目となる。セールは午前9時から予定だったが、前日か

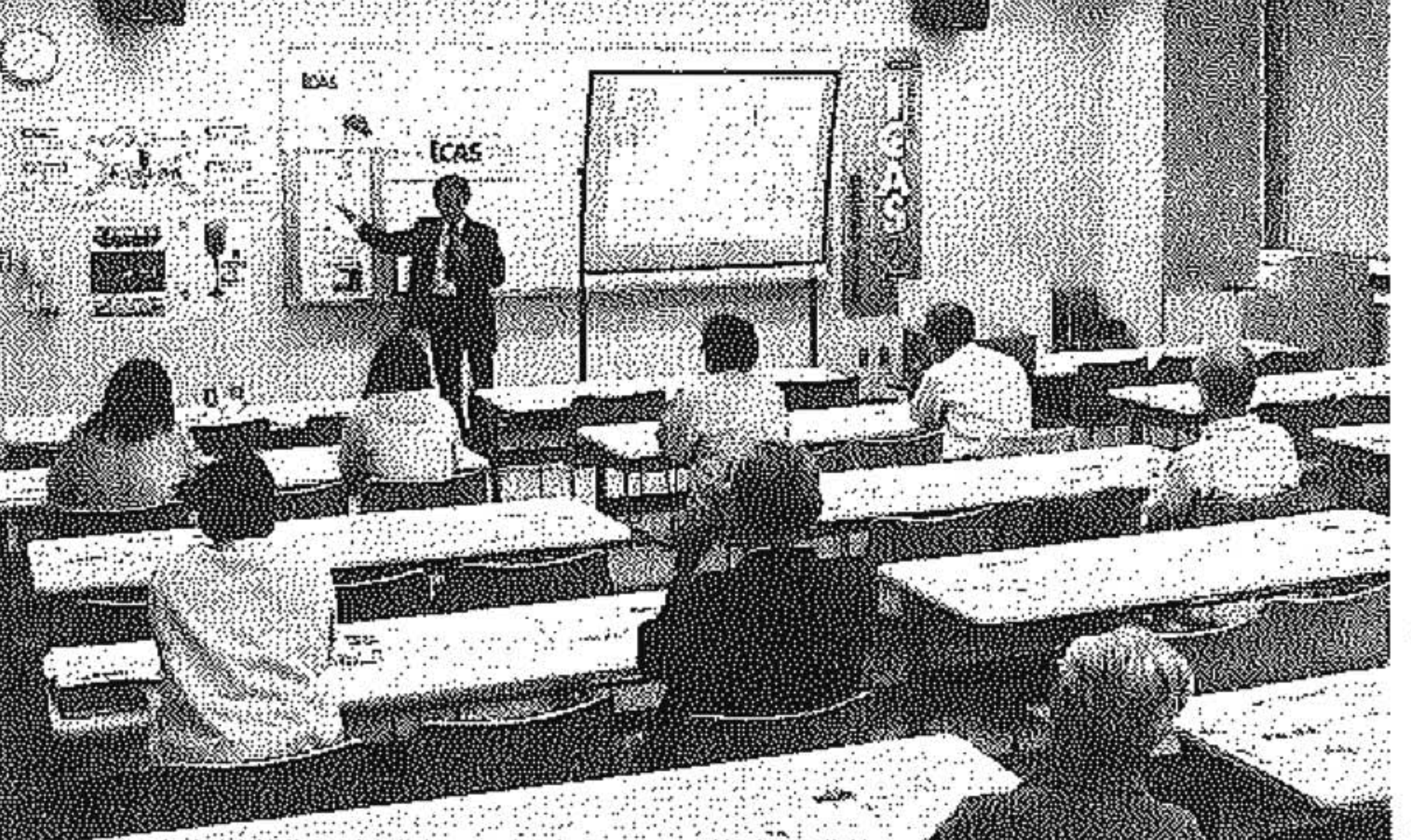
ら寝袋持参でオープンを待つ客もいて、ゲート前には受け付けを済ませた来場者が整理券を手に、今や遅しと開場を待ち兼ねていた。北村互会長、逸見社長、松田潤都城支店長によるテープカットの後、予定を早めて午前8時過ぎには開場。受け付け順に50人ずつの入場制限を行っ



熱心に品定めする来場者。都城支店高木工業団地で。だが、目当ての商品めがけて猛ダッシュする来場者に、担当者もうれしい悲鳴を上げていた。会場には整備済みの商品がずらりと並び、売約済みのが次々とかけられていた。また今回初の試みとして、オークションコーナーも設けられ、ダンブやクレールン車、仮設ハウスなど、程度も良く、走行距離も短いと、入札申し込み者がひっきりなしに訪れた。来場者の1人、宮崎市の野崎宗志さんは「安くてもいい品ばかり。満足いく買い物ができた」と笑顔を見せていた。

良質な空気環境実現

アイキャスの家発表説明会(吉松道晴社長)と(株)創造企画(中村歳久社長)共催による「アイキャスの家」発表説明会。発表説明会には、松道晴社長と(株)創造企画(中村歳久社長)共催による「アイキャスの家」発表説明会。発表説明会には、松道晴社長と(株)創造企画(中村歳久社長)共催による「アイキャスの家」発表説明会。



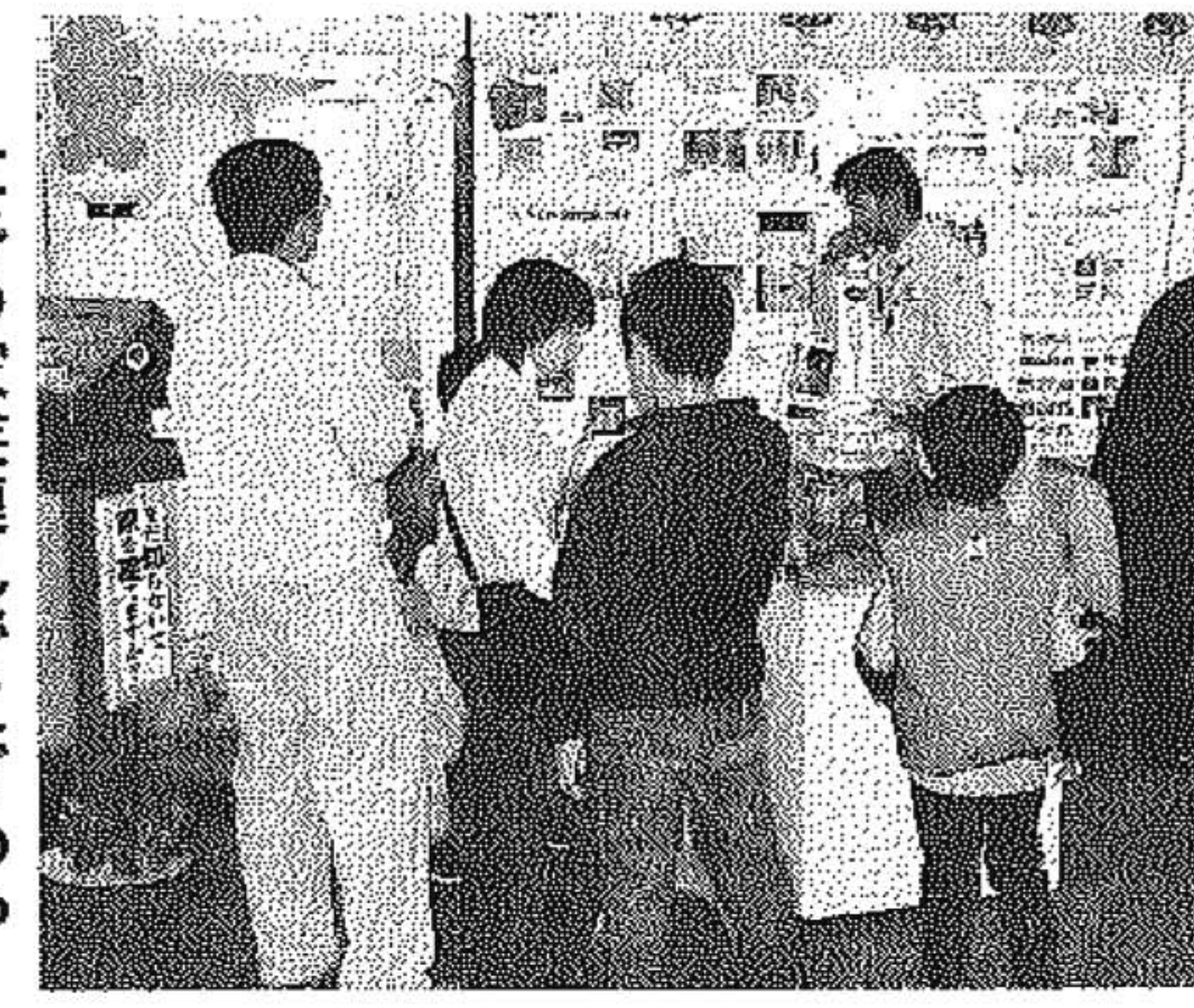
冒頭、中村社長が「家は居室の空気が大切だ。住まう人の健康と住宅の関連性は注目を集めている。今日は健康住宅とは何かを学んでほしい」と挨拶。続いて、山村哲朗アイテック工務(株)常務が

「アイキャスの家を推進している」と述べ、工法の概要などを解説した。同工法は、室内にヘルスコート(液状活性触媒炭)を塗装し、金属製のアダプターを接続。ヘルスコートの電気特性を有効利用してマイナスイオンの多い環境を作り出すもの。約2時間の入室で血液がサラサラになるという。

同社ブースには、所在地である「吹上の町を広くアピール」することをメインに、自然の名所・施設や歴史文化などの写真パネルを設営したほか、同社がこだわった「本物志向」を表現するため、建築物件に使用される天然ウール、柿渋、竹炭、蜜蝋など天然素材を生かした

吹上の町アピール

つばめホーム(谷口令社長、日置市)は、このほど鹿児島市のかごしま県民交流センターで行われた「かごしま住まいと建築展」に初出展、開催期間の同社ブースは、連日大勢の来場者でにぎわった。



同社の佐々木力氏は「初めて出展させていただいたが、われわれの予想を超える盛況ぶりに正直驚いている。いろいろ話をうかがうと、やはり安心して生活できる家がほしいという声が大半を占めているようだ。今回の展示会で

名瀬市で生涯学習推進発表大会

士会等業界バックアップ

南日本生涯学習まちづくり研究大会の一環となる第12回名瀬市生涯学習推進発表大会が26、27日、名瀬市の奄美文化センターであり、多くの市民が訪れ各種アトラクションや舞台発表、作品展示などを楽しんだ。

同センター1万人広場であったあまみ林業フェアでは木工教室が開かれ、子供連れの家族らが棚やハンガー作りを楽しんだほか、各種木工製品の展示販売もあった。また奄美折紙を楽しむ児童



「名瀬市の奄美文化センターで。が次々と売れていく中、クリスマス用のポインセチアやシクラメンにも人氣が集まった。

ホール内では県建築士会大島支部(栄博昭支部長)による折り紙工作教室が開かれた。大人が挑戦する難度の高い折り紙建築から児童らが楽しめるキャラクターづくりなど多くの親子が参加した。同イベントは昨年からは始まったものだが、指導を行った会員の一人は「前回体験された方が大勢来てくださった。今後も続けていきたい」と話していた。

丸天建設グラウンドゴルフ大会

地域住民が交流・親睦



丸天建設(株)(水口忠志社長)は26日、鹿児島市の魚見第2公園で「第7回丸天建設杯杯魚見町・小原町合同グラウンドゴルフ大会」を開いた。地元住民が多数参加し、交流・親睦を深めた。同大会は、水口社長が何か地域に貢献できればと発案。賞品の提供など

一手に引き受け、11年度から始め、地域の行事として定着している。魚見町住民で実施していたのを、今回から小原町もメンバーに加わった。大会には両町から32人が参加し、2チームに分かれてプレーを行った。1打でホールポストに入って歓声が上がった。水口社長は現在、魚見町内会長、東谷山校区町内会長、連絡協議会委員、自主防犯組織・ひまわりサポーター隊長などを務める。氏は「われわれ建設業は地域のために奉仕することが大切です。地域の方々の融和の輪が広がってこればうれしいですね」と語った。

“真心とほほ笑みと”をモットーに!!
家具総合卸
南日本家具工業
鹿児島市東開町13-30
TEL (099) 269-7111 FAX 268-0385